

光ネットワークの開通祝い完成式典

阿蘇市と産山村が共同で行った光ファイバー網の整備及びお知らせ端末の設置（阿蘇市8,900台、産山村600台）が完了し、待望のインフラ整備の完成を祝った式典が6月23日、阿蘇体育館で行われました。

光ネットワーク整備事業は、国の緊急経済危機対策の一つとして打ち出された、地域情報通信基盤整備推進交付金事業（総務省）で、総事業費は約28億円。およそ9割が国の補助金で整備されました。



▶ デモンストレーションでお知らせ端末の活用を勉強した碧水小児童と話す佐藤市長。



これにより、阿蘇市・産山村全域に全長480kmの光ファイバーケーブルが敷設され、高速のインターネットやお知らせ端末が利用できるようになったほか、携帯電話不感地域（荻の草、舞谷、深葉地区）解消整備にも光ケーブルが利用され、阿蘇市内どこからでも携帯電話の通話が可能となりました。

式典では、佐藤義興市長が碧水小学校の児童たちと、また佐藤敬助村長が診療所の医師とお知らせ端末で会話をするデモンストレーションや、映像による概要説明があり、区長や各種団体長など200人の出席者から光の活用への期待に大きな拍手が送られました。

男女共同参画社会を目指して



▲議長室で要望する岩瀬会長（右）と山口玲子副会長（中央）。

阿蘇市男女共同参画審議会（岩瀬國興会長）は農業委員選挙を控えた6月17日、田中則次阿蘇市議会議長と阿蘇品豊農業委員会会長に女性農業委員の確保・拡大に向けた要望書を提出しました。

総数37人の阿蘇市農業委員のうち女性委員はわずか1人と、女性の立場から地域の農業・農村の振興に参画する体制が出来ていない現状を踏まえ、数年前から継続して要望しています。

市営住宅池尻団地 2棟目が完成



建物老朽化に伴う市営住宅建て替え工事で、昨年8月から着工した池尻団地2棟目が5月に完成し、6月から続々と入居者が引っ越しを行いました。

今回建設された池尻団地も1棟目と同様に鉄筋コンクリート3階建てで、1DK4戸、2DK9戸、3LDK7戸が配置され多様な家族構成に対応できるよう設計されています。

平成19年度から始まった市営住宅建て替え事業により、池尻団地、新小里団地にそれぞれ2棟が完成しています。今後も継続して建設していく予定です。市民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。